

# 2009 年度事業計画

## 1. 事業計画上のポイント

2009 年度の事業計画を立案するにあたって考慮すべき状況と、重点課題として取り組む事業のポイントは、以下のとおりである。

### ① 骨髄移植推進財団の事業計画

関西骨髄バンク推進協会は、骨髄移植推進財団の支援を活動の大きな柱としている。したがって、2009 年度の事業計画の策定にあたっては、骨髄移植推進財団の事業計画の内容をふまえる必要がある。

#### (1) 骨髄移植推進財団 平成 21 年度事業計画における数値目標

- ・平成 21 年度国内移植件数 1,180 件 (前年度計画 1,000 件)
- ・平成 21 年度国際移植件数 20 件 (内、受領 5 件、提供 15 件)  
(前年度計画 20 件、内、受領 5 件、提供 15 件)
- ・平成 21 年度確認検査件数 6,800 件 (内、国際 200 件)  
(前年度計画 5,900 件、内、国際 200 件)
- ・平成 21 年度登録者増加数 30,000 人 (有効ドナー数)、(前年度計画 300,000 人)

#### (2) 骨髄移植推進財団 平成 21 年度事業計画 事業実施の基本方針 (抜粋)

平成 21 年度において、主に以下の事業に重点を置いて取り組んでいくものとする。

- 1 更なるドナー登録者の拡大のための事業
- 2 ドナー登録者の骨髄提供意思の維持に向けたドナー環境作り事業
- 3 ドナーコーディネート期間を短縮するための事業
- 4 HLA の C 座の検査の導入を適切に行うための事業
- 5 末梢血幹細胞移植の導入に向けて、検討や準備を進める事業

#### (3) 骨髄移植推進財団 平成 21 年度事業計画 普及啓発事業

- 骨髄バンクの広報をさらに充実すべく、新設される広報推進委員会の審議を深め映像媒体の提供等によるマスコミュニケーションへの働きかけを強化するとともに、「かたりべ」事業のさらなる充実により地域におけるきめ細かな広報活動の推進に努める。また、骨髄バンクに関係する医療関係者、行政、日赤、日本さい帯血バンクネットワーク、ボランティア団体等の諸団体との協力連携に努める。

- ※ 以下、「普及啓発事業」の3つの業務について、項目のみを記載するが、  
関西骨髄バンク推進協会としての事業に関わる項目のみ、内容を記載する（太字）。

### 【普及広報業務】

(ア) 広報推進委員会の運営

(イ) **骨髄バンク推進全国大会**

骨髄バンク推進全国大会を、骨髄バンクの関係者のみならず、広く一般の方に対する骨髄バンク普及広報の場として開催する。開催に当たっては、一般の方や患者さん、ドナーの方々、ボランティアの方々の目線に立った大会の実施が可能となるよう、企画の段階からこれらの方々の意見を取り入れる工夫をするとともに、開催地についても引き続き地方開催を検討する。

(ウ) 広告宣伝活動

(エ) 各種媒体による活動

(オ) **青少年に対する広報活動**

義務教育・高校・大学や専門学校に対して「かたりべ」活動を行う等、青少年に対する広報活動の強化を図る。

(カ) **地域活動の強化**

ボランティア団体、日赤奉仕団、企業、団体などとの協力関係を強化し、「かたりべ」活動による企業などでの講演会開催など地域における草の根レベルでの普及広報活動を推進する。

(キ) ホームページの充実

(ク) 骨髄バンク推進月間の取組み

### 【登録推進業務】

(ア) **ドナー登録の活発な展開**

一人でも多くのドナー登録者を確保するため、引き続き、日赤、地方自治体、ボランティア団体の協力を得て、財団または地方自治体主催のドナー登録会を全国で開催するほか、日赤などの協力により、献血会場におけるドナー登録受付を推進する。さらに地域のボランティアの協力により、ドナー登録会のPR強化に努める。

(イ) 「**骨髄バンク連絡推進協議会**」の再構築等

各地区行政担当と連絡を密に取り、都道府県単位で設置する「骨髄バンク連絡推進協議会」の再構築を図ること等により、登録会を活性化し、いわゆる草の根レベルでドナー登録の実績を向上させるとともに、骨髄バンクの普及広報にも努める。

(ウ) 地区普及広報委員、説明員活動の向上等

ドナー登録会の開催運営に中心となって活動している地区普及広報委員、説明員について、研修の機会の確保や活動条件の向上に努める。

【ドナーリテンション業務】

- (ア) ドナー登録者の提供意思の維持のための施策
- (イ) 企業・団体への「ドナー休暇制度」導入や「有給休暇」取得の働きかけ
- (ウ) 正確な情報提供

## ② 2009 年度事業計画における重点事業

以上の計画をふまえ、2009 年度事業計画策定にあたり、特に以下の点を重視する必要がある。

(1) 普及広報に関わる取り組みの充実・強化

骨髄バンク事業への市民の共感を得るため、ボランティア団体でなければ伝えられないものを伝える取り組みを考える。

市民活動の強みを生かした活動を充実させる。

(2) 有効ドナー登録者数の増加への取り組み

有効ドナー登録者数を増やすため、行政、日赤、財団等が連携して課題に取り組むことができるよう、関係者間のコミュニケーションの強化に努める。

(3) 収支バランスの良い財政確立に向けての努力

関西骨髄バンク推進協会は、2005 年度より、4 年度連続して、単年度収支が赤字となっている。繰越金が年々減少し、次年度以降の運営が危ぶまれる状況にある。効率的・効果的な支出への努力と、寄付者・賛助会員の拡大のため、事業紹介の資料作成などにより、財源の確保に努める。

## 2. 2009 年度の事業計画と組織

### 《事業の推進計画》

#### ① ドナー募集支援事業

献血併行型登録会の開催を中心に、開催回数の少ない地域では、開催回数を増やし、一人でも多くの提供につながるドナー登録を目指す。そのために、関係者と、良好なコミュニケーションを構築する努力をする。

## ② 骨髄バンク推進全国大会 2009

今年度の「骨髄バンク推進全国大会」は、大阪での開催が予定されている。  
 ※2009年9月12日（土）大東市立総合文化センター（大ホール）  
 準備段階からの連絡調整など、骨髄移植推進財団の実務をサポートする。

## ③ 講師派遣事業

骨髄移植推進財団が、前年度より事業を実施している「骨髄バンク語りべ等派遣事業」と連動し、講師として派遣できる人材の発掘、育成に努める。

また、骨髄バンクを題材としたワークショッププログラムを作成し、積極的なPRを考える。

## ④ チャリティー事業（啓発活動）

骨髄バンクへの理解と支援の繋がりを広げるとともに、財源を確保するため、チャリティー事業を行う。

- (1) 第9回 骨髄バンク&京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会  
 開催日：2009年11月23日（祝・月）

会 場：有馬ロイヤルゴルフクラブ

- (2) 第4回骨髄バンクチャリティーコンサート 「いのちを紡ぐ」

開催日：日程未定

会 場：会場未定

- (3) その他（啓発と募金活動・展示即売などを実施予定）

\*土曜の午後はシャンソンで！ 骨髄バンク支援コンサート

2009/4/18 大阪赤十字病院 5/30 宝塚福祉コミュニティプラザ

～パリ祭～7/4 大東市立生涯学習センターアクロス

\*大阪プロレス 10周年記念興行 4/29 松下 IMP ホール

\*国際グランプリ陸上大阪大会 2009/5/9 長居スタジアム

\*新極真会 骨髄バンクチャリティー全日本ウエイト制空手道選手権大会

2009/5/23.24 大阪府立体育会館

\*セレッソ大阪ホームゲームでの啓発と募金活動 長居スタジアム

\*第10回ワクワクフェスタ 2009/5/24 ネヤガワドライビングスクール

\*福知山産業フェア

\*スミセイヒューマニー活動

\*大阪府青少年赤十字高校生チャリティーバザー

\* 動物臨床医学会年次大会

\* イオン黄色いレシートキャンペーン (随時)

## ⑤ 血液難病等患者支援事業

患者支援ピアサポート「パソコン教室&パソコンサークル」

パソコン教室は、難病患者および経験者が、お互いを助け合うための情報や知恵を交換する手段として、パソコンの基礎知識を習得することを目的とする。

パソコンサークルは、同じ境遇にある者同士が、知り合い、繋がる機会とし、精神的に支え合う場となることを目的とする。

開催日：未定

会 場：大阪府立健康科学センター 2階 講習室

## ⑥ 説明員研修事業

骨髄バンクドナー登録会の際に、登録希望者への説明と手続きを行う説明員の研修会を開催することにより、説明員の質の向上を目指す。また、新規に、説明員を養成するための研修会も実施する。

○ 福知山説明員研修会 (日程未定) 福知山赤十字血液センター

○ 第 9 回説明員研修会 2009/9 大阪府立成人病センター会議室 (予定)

○ 第 10 回説明員研修会 2010/3 大阪府立成人病センター会議室 (予定)

(大阪での開催は、大阪府からの受託事業として実施する。)

## ⑦ 会報発行事業

会報『関西協会ニュース』を年度内に 2 回発行する。

第 49 号 (2009/7 発行予定) 第 50 号 (2009/1 発行予定)

## ⑧ 行政との協働

(1) 大阪府と、骨髄移植推進事業委託契約 (2004 年度より)

(2) 大東市提案公募型委託事業に応募予定

## 《事業を支える組織と財政の強化》

### ① 人的な事業推進態勢の充実

- (1) 「理事会」の開催
- (2) 「総会」の開催
- (3) 会員の拡大に向けた努力
- (4) ホームページのリニューアルと活用

### ② 財源の確保と財政運営

- (1) 収入の維持・拡大
- (2) 支出の適正化